

第八十一回
帝國議會
貴族院

農業保險法中改正法律案特別委員會議事速記録第九號

昭和十八年二月二十五日(木曜日)午前十時十三分開會

○委員長(伯爵黒木三次君) ソレデハ是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、最初ニ米原君ニ發言ヲ許シマス

○米原章三君 私ハ昨日皇國農村建設ニ付テ御伺ヲ致シマシタ處、凡ソノ輪廓ト構想ノ片鱗ハ承リマシタガ、何分大臣モ御多忙デアラシヤイマシテ、時間モアリマセヌデシタカラ詳細ニ承ルコトハ出來マセヌデシタガ、要スルニ大和民族涵養ノ基盤トシテ、又國民生活ノ給源トシテ皇道ニ即シタ農村ヲ建設スルノデアアル、而モソレハ自作農創定ヲ中心トシテ、有畜農業經營ノ科學化、農民鍊成ニ依ル農民道ノ徹底及指導、施設ノ企畫ニ依ッテ、適正ナル經營規模ノ農村ヲ建直スノデアアル、斯ウ云フ意味ノヤウニ御構想ヲ拜承シタノデアリマス、誠ニ私共同感至極ニ存ズル次第デアリマス、唯私ハ茲ニ新シキ農村ヲ再建設サレルニ當リマシテ我が國農村ニ於キマシテ、明治、大正、昭和ヲ通ジテ其ノ指導ノ中樞デアリマシタ地主階級ヲ如何ニ御取扱ヒニナルカニ付テ、何等ノ御構想ヲ承リマセヌデシタコトヲ最モ遺憾トスル者デアリマス、就キマシテ私ノ御伺ヒ致シタイト思ヒマス重點ハ、皇國ノ農村建設ニ當リマシテ、其ノ重要ナル中核トシテ自作農創定ヲ政策トシテ今回御提案ニナリマシタト同時ニ、何故我が國現在ノ地主階級ヲ地主トシテノ本然ノ姿ニ復歸セシムルノ政策ヲ樹立セラレナカッタデア

ラウカト云フ點デアリマス、申ス迄モナク明治維新以來、地主階級ガ我が國農村ノ維持育成ニ貢獻致シマシタ功績ハ、今更事新シク申上ゲル迄モアリマセヌ、所謂地主階級ハ常ニ一村ノ指導者トシテ農村ヲ率キ、自ラ運營ノ責ニ任ジテ居ッタデアリマス、從ヒマシテ總テノ地主ガ直接農耕ノ業ニ從事シテ居リマスノハ勿論、教育ニ於テモ、智能ニ於テモ、財力ニ於テモ優越セル地位ヲ占メテ、一村ノ師表ト仰ガレテ居ッタデアリマス、而モ地主ト小作トノ間ニハ權利義務ノ觀念ハ超越シテ居リマシテ、極メテ圓滿ニ、所謂親方子方ノ呼稱ノ通りニ、眞ニ親子ノ如キ至情ヲ以テシテ唇齒輔車ノ關係ガ結バレテ居ッタデアリマス、斯ウシテ一村ノ家族主義ハ培ハレ、醇風美俗ハ保持サレテ居ッタデアリマス、而シテ維新後ノ國民皆兵制度ト共ニ、日本武士道ノ生命ハ力強ク培養サレテ居ッタデアリマス、誠ニ大和民族涵養ノ素地ハ茲ニアッタデアリマス、然ルニ日露戰爭ヲ契機ト致シマシテ我が國ガ世界的ニ躍進シ、所謂自由經濟主義華ヤカナル時代ニ入りマセヌ、農地ハ自由ニ都市ノ資本家ニ賣買セラレルニ至リマシタ、ソレト同時ニ農村ノ地主階級ハ、時代ノ潮流ニ誘ハレマシテ、近代文化生活ヲ愛シ、土ニ親シミツ、アッタ生活カラ遊離スルニ至ッタデアリマス、農村ノ維持育成ノ指導的地位ヲ遂ニ失ヒツ、アルノデアリマス、而シテ我が國自由主義末期ノ思想混

亂時代ニ直面致シマシテ、農村ノ革新運動ハ澎湃トシテ起ツテ來タノデアリマス、茲ニ地主階級ハ崩潰ノ一路ヲ辿リツ、アルノガ現狀デアリマス、而モ今次自作農創定ノ政策ガ實現セラレ、其ノ緒ニ著キマスルヤ、加速度的ニ崩潰スルコトト想像サレルノデアリマス、併シナガラ私ハ我が國農村ニ於テ永キ歴史ト傳統ニ生キ、大和民族發祥ノ基地タル農村指導ノ中堅タリシ地主階級ヲ全然崩潰セシムルコトガ、果シテ國策上宜キカ、是ハ由々シキ重大問題ト思フ者デアリマシテ、皇國ノ農村ノ建設トシテハ、地主ヲシテ新シキ農村ノ指導者タル矜持ト責務ヲ以テ自ラ農耕ノ業ニ精進スルコトヲ天職ナリト自覺セシメ、所謂新秩序建設ノ運動ヲ展開サセラレルコトガ、最モ焦眉ノ急ナルモノト信ズルモノデアリマス、而シテ地主ノ子弟ニハ父祖ノ家業ヲ繼承セシメ、實質剛健ナル農民魂ヲ鍛鍊シ、特殊ナル農業教育ノ鍊成ヲ致サセマシテ、所謂新シキ地主階級タル自覺ヲ復活セシムル時ニ農村新體制ハ確立スルデアリマス、私ハ我が國農村ノ特殊性ト致シマシテ家族主義ヲ根柢トシ、農民道ニ徹スル地主、小作ノ渾然一體トナレル存在ヲ或程度迄強調シテ止マナイノデアリマス、即チ各農村ニハ必ず相當數ノ地主階級ヲ維持スルコトガ、皇國農村建設ノ必須條件トセラレルコトヲ要望シテ已マナイモノデアリマス、茲ニ大臣ニ對シテ此ノ新地主制度創設ノ御意思アリヤ否ヤ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(井野碩哉君) 皇國農村確立促進ニ當リマシテ、地主階級ニ對スル何等カノ對策ガナイノガ遺憾ダト云フ御話デゴザイマス、私ハ地主階級トカ小作人階級トカ、今日階級的ナ意味ニ於テノ地主ナリ小作人ノ問題ヲ考ヘタクナイノデアリマス、今日ハ國民全部ガ一團トナリマシテ、大東亞戰爭完遂ニ向ッテ行カケレバナラヌ時代デアリマスルカラ、所謂階級的ナ存在ニ於テハ、其ノ人々ヲドウ取扱ッテ行クカト云フ氣持デ之ヲ導イテ行キマスヨリハ、寧ロ今日ハ農村ト云フモノヲ單位ニ、其ノ村ヲ如何ニシテ立派ナル農村ニ爲シ得ルカト云フ所ニ主眼點ヲ置キマシテ、農村自體ニ於キマシテハ、今御話ノ通り今回ノ政府ノ施設ト致シマシテモ、全部ヲ自作農地ニスルト云フノデアリマス、地主諸君ガ明治維新以來、國家ノ農業ニ盡サレマシタ其ノ功績モ亦居村ニ於ケル人望竝ニ財產的地位ニ於キマシテモ、結局ハ矢張り土地ハ或程度持ち、又自ラ耕作シ、範ヲ村民ニ垂レテ行クト云フ所ニ於テ、指導的立場ニ立ッテ居ラレル立派ナル方々モ多イノデアリマスカラ、是等ノ方々ハ更ニ自作農家ト渾然一體トナツテ、皇國農村ヲ築キ上ゲテ行クト云フコトガ、一番今日ノ時局ニ於テ、農村ヲ盛上ゲテ行ク上ニ於テノ大切ナ觀點デハナイカト思フノデアリマス、デアリマスルカラ、地主階級ト云フ全國ヲ通ジテノ階級ヲ如何ニ取扱ッテ行クカト云フ點ヨリハ、寧ロ農村々々ニ於テノ各立場ヲ十分ニ

理解シテ、サウシテ村ヲ如何ニシトラバ立派ナ村ニ爲シ得ルカト云フコトヲ、主眼ニ考ヘテ行キタイノデアリマス、今回ノ自作農創定施設ヲ擴充致シマシタノモ、現在ノ地主諸君ガ持ッテ居ラレル耕地自體ハ、現在ノ耕作事情カラ見ルト云フト、多キニ過ギルノデハナイカ、之ヲ寧ロ小作人ニ或程度分割シテ、サウシテ殘タ所ノモノヲ自ら耕サレ、或程度ノ小作ヲシテ行カレルト云フコトガ却テ宜イノデハナイカ、サウデナケレバ、今日ハ小作人ハ地主ニ土地ヲ返還シテ外ノ方ヘ離村スルト云フ傾向モ強イノデアリマス、サウナツ場合ニ、却テ地主諸君ハ耕サレザル土地ヲ多ク持タレテ困ル時代モ、將來ハ多クナリマスカラ、是等ノ點ヲ考ヘマシテ、今回ノ自作農ノ創定施設ヲ擴大強化致シタノデアリマスルカラ、此ノ意味ニ於テハ、私トシテハ地主諸君ノ立場モ十分考慮ニ加ヘマシタ施策トスウ信ジテ居ル次第デアリマス

○米原章三君 大體了承致シマシタ、尙只今私ノ地主階級ト云フ用語ガ、甚ダ過去ノ階級意識ニ考ヘラレタコトヲ遺憾ト致シマス、私ノ考ヘ方ハ、所謂地主階級ト云フ特殊ノ階級ヲ今後モ御認メ戴キタイト斯ウ云フ意味デハアリマセヌ、大臣ノ仰セノ通り新シキ意味ニ於テノ地主ヲ茲ニ展開サレテ、眞ニ明治初期時代ノ地主ヲ復活セシメル、是ガ重大ナ問題デハナイガラウカ、無論仰セノ通りニ今日ハ不在地主モアリ、所謂自ラ耕サザル地主ノアルコトモ承知致シテ居リマス、是ハ仰セノ通りニ、十分是正シナケレバナラス、茲ニ自作農創定ノ意義モアルト思フノデアリマス、併シ今回御提案ノ豫算其ノ他ヲ見、且又衆議院ニ於ケル議員

各位ト大臣トノ質疑應答ノ内容ヲ拜承致シマシテ、永ラク此ノ日本ノ重大ナル農地問題ハ、地主ヲ後退セシムルト云フ一途ヲ辿リツ、アルノデアリマシテ、仰セノ如ク或程度迄地主ヲ殘スト云フ御方針デアアルナラバ、自作農創定ト同時ニ地主ヲ如何ナル體制ノ下ニ殘シテ行クカト云フコトヲ御考慮ニナルト同時ニ、自作サセルコトガ、圓滿ニ此ノ農地問題ヲ解決スル途ト私ハ信ジテ居リマス、此ノ意味ニ於キマシテ、今回此ノ地主問題ガ何等政策ノ上ニ現レテ居ナイト云フコトヲ遺憾トシタモノデアリマスガ、大體ニ地主ヲ相當數殘シテ行クト云フ御意嚮ハ、只今ノ御意見デ承知致シマシタガ、之ヲ徹底サシテ戴キタイ、是ハ私ノ希望デアリマス、次ニ御伺ヒ致シタイ點ハ我が國ノ家族制度ハ長子ノ家督相續制デアリマス、ソレハ農村ニ於テハ不文ノ農地家産制トモ言フベキモノデアルト思ヒマス、此ノ尊キ傳統ノ下ニ大和民族ノ基地ハ培ハレ、土ヲ愛シ土ニ親シム農民ハ生レテ居ルノデアリマス、茲ニ新地主制度ノ創設ノ意義ガアルト思ヒマス、付キマシテハ大臣ハ農地家産制度、即チ農地ノ世襲制ヲ制定サレルノ御意嚮ハアリマセヌカ

○國務大臣(井野碩哉君) 農村ヲ維持發展致シテ參リマス爲ニ、家族制度ヲ中心ニスルト云フコトハ、今後モ政府ノ方針トシテサウ導イテ參リタイト存ジテ居リマス、從ッテ長子ガ其ノ農地ヲ家産トシテ承ケ繼イデ行クト云フコトモ、指導ノ上ニ於テハ勿論サウ言ツタ方向ニ進ムベキデアリマスガ、之ヲ法制化スルカドウカト云フ問題ニ付キマシテハ、現在ノ狀態ニ於テ更ニ各方面カラ一層ノ檢討ヲ要スル必要ガアルノデハナカ

ラウカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、ト申スノハ今日ノ農地ハ、矢張り金融ノ對象トシテ、經營上主要部分ヲ占メテ居ルノデアリマスルカラ、家産制度ニ致シマシテ、其ノ融通性ヲ失ハシメルト云フコトガ適當デアアルカドウカ、茲ニ別箇ニ何等カノ機關ヲ設ケマシテ、サウシテ其ノ融通性ヲ或程度認メツ、家産制ヲ實行シテ行クト云フコトニ始メテ家産制ノ有恆性ヲ考慮出來ルノデアリマスルカラ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分自作農創設ト相俟チマシテ、今後ノ研究ニ委シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○米原章三君 大體了承致シマシタ、仰セノ通り家産制度ガ、土地ノ融通性ヲ缺クト云フ缺點ハ私モ承知致シマス、是ト同時ニ餘リニ土地ニ融通性ガアリマシタ爲ニ、最近ニ於ケル自由主義時代ニ於テ、土地ガ誤マレル方向ニ流レタコトモ御承知ノ通りデアリマス、私ハ此ノ意味ニ於テ家産制度ヲ強調シタイ、仰セノ通り其ノ方法ニ付テハ種々御懸念ノコトモアルト思ヒマスガ、是非共今回ノ此ノ自作農創設制度ト共ニ、家産制度ニ付テ慎重ナル御考慮ト、其ノ急速ナル實施ヲ要望シテ止ミマセヌ次第デアリマス、第三ニ今回ノ自作農創定ノ方針ハ、大體ニ於テ我が國現時ノ小作農地二百七十八萬町歩ノ中、百五十萬町歩ヲ本年度以降二十五箇年間に計畫デ自作農トスル、更ニ開發營園ニ依リ開墾地五十萬町歩ヲ自作農トスル、即チ合計二百萬町歩ノ自作農ヲ創設スルトノ御方針ノヤウデアリマス、從ヒマシテ小作農地ガ約百三十萬町歩殘存スルコトニナルト思ヒマスガ、此ノ百三十萬町歩ヲ以テ、私ノ先刻申上ゲマシタ新シキ地主ヲ創設スル制度ヲ勘案サレテハ如何カト

思フノデアリマス、自作農創設ト相對シテ速カニ之ヲ實施サレルコトガ、自作農創設ノ目的ヲ達シ、所謂皇國農村制度ノ確立ハ此ノ二ツノ方向ヲ以テ御進ミニナルコトガ重要ト思フノデアリマスルガ、此ノ點ニ付テ大臣ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 只今御述ノ通り自作農創定ノ目標ハ、二十五箇年間に既墾地百五十萬町歩、新開墾地五十萬町歩ヲ目標ト致シマスルカラ、アト百三十萬町歩ト云フモノヲ小作地トシテ殘ス譯デアリマス、此ノ小作地ハ結局ソレニ相對シテノ地主諸君ガ殘ラレル譯デアリマスルガ、當初申上ゲマシタ通り、皇國農村ヲ今後確立シテ參リマスル上ニ於テ、其ノ村ニ於テ如何ナル地域ヲ自作農地トシ又小作地トスルカト云フコトハ、村々ノ計畫ノ上ニ於テ織リ込メテ樹テ參リタイト思ッテ居リマス、從ッテ新地主制度トカ云フ制度的ニ之ヲ考ヘマセヌデモ、自ら反射ノ結果ニ於テ新地主ト申シマスルカ……新ナル觀念ナリ構想ノ下ニ地主諸君ノ居村ニ於ケル指導的地位ヲ十分ニ活用シツ、而モ尙地主諸君モ自ラ耕作サレルヤウニ進マレテ、サウシテ居村ニ於テ小作人ト一體ニナツテ村自體ヲ護リ上ゲテ行クト云フコトヲ指導方針ノ下ニ今後進ンデ參リタイト思ッテ居リマス、デアリマスルカラ是ハ指導方針デアリマシテ、制度トシテ、自作農創定ト云フヤウナ一定ノ資金ヲ用意シ、又手續ヲ色々ニ改變シマシテ、サウシテ之ヲ促進シテ行クト云フ行キ方ハ執ッテ居リマセヌガ、其ノ行キ方ノ上ニ於テ、一部ノ論者ガ唱ヘテ居リマスル如ク、小作地全部ヲ一應國有ニ移シ、サウシテ更ニ之ヲ小作人ニ賣リ渡シテ自作農創定ヲセ

ラウカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、ト申スノハ今日ノ農地ハ、矢張り金融ノ對象トシテ、經營上主要部分ヲ占メテ居ルノデアリマスルカラ、家産制度ニ致シマシテ、其ノ融通性ヲ失ハシメルト云フコトガ適當デアアルカドウカ、茲ニ別箇ニ何等カノ機關ヲ設ケマシテ、サウシテ其ノ融通性ヲ或程度認メツ、家産制ヲ實行シテ行クト云フコトニ始メテ家産制ノ有恆性ヲ考慮出來ルノデアリマスルカラ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分自作農創設ト相俟チマシテ、今後ノ研究ニ委シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

シムルト云フ強力ナル制度ニナリマスルト云フト、是ハ地主諸君ノ崩潰ニナリマスルカラ、從テサウ云ツク手段ヲ執ラズシテ、漸進的ナル自作農創定ノ方針ヲ執リマシタ反面ノ政府ノ意圖ヲ十分御理解ニナリマスレバ、自ラ今御述ニナリマシタ御意見ト少シモ違ハズニ進ミ得ルノデハナカラウカト信ジテ居ルノデアリマス

○米原章三君 大臣ノ御話ニ依ツテ、所謂新

シキ地主ハ殘スベキモノダト云フ仰セハ承知致シマシタガ、是ハ所謂經濟的ニ國ガ金ヲ使ハレル必要ハナイ、制度的ニ之ヲ勸業サレルコトガ寧ロ新シキ地主ヲ殘ス最モ良キ方法カト思フノデアリマス、唯施策ニ於テ御考ニナルノデハ不徹底デハナイカ、殊ニ先日衆議院ニ於ケル議員各位ト大臣トノ應答ノ速記録ヲ見マシテ、其ノ中ニ流レル考ヘ方ヲ想察致シマスレバ、如何ニシテモ此ノ際百三十萬町歩ハ殘ルノダ、ソレハ如何ナル時代ニカ自作農ニシテマフノダ、矢張りアノ應答ノ流レノ中ニハ、最早地主ト云フ制度ハ崩潰シテモ宜イノダト云フ意識ニ燃エテ居ラレルノデハナイカト、私ハ誤ッテ居ルカモ知レマセヌガ想像シタノデアリマス、此ノ點ガ今後ノ皇國農村建設ノ思想的ニ御考ヲ戴カテレバナラヌ重大ナル問題ダト私ハ思フノデアリマス、此ノ點ガ本日御質問申上ゲル骨子デアリマス、私ガ所謂誤レル今日ノ地主ハ考ヘ直サナレバナラヌ、併シ土ニ親シミ、自ラ農耕ノ業ニ從フ今日迄ノ地主ガ本然ノ姿ニ還ルコトガ最モ必要デア

ル、斯ク考ヘマスル意味ニ於テ、制度的ニ御考ニナル必要ガアリヘセヌカ、ソレガ自作農創定ヲ實現セシムル早道デハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス

○國務大臣(井野碩哉君) 私が衆議院ノ委員會デ申上ゲマシタコトヲ御綜合ニナリマシテノ御意見デアリマスガ、衆議院ノ委員

會デモ、私ハハツキリ居村ニ於ケル地主ノ地位ナリ又使命ナリヲ申述ベテ居リマス、サウシテ或意味ニ於テハ指導者ノ地位ニ於テ、又或場合ニハ自ラ篤農家トモナツテ、サウシテ村ヲ率ヒテ行ッテ貫ヒタイト云フコトモハツキリ申述ベテ居リマスノデ、總テノ地主諸君ノ今日ノ狀態ヲ大變革スルト云フ氣持ハ持ッテ居リマセヌ、而モ自作農創定ニ當リマシテハ、地主諸君ノ今日ノ國家ノ要請ニ應ズベキ機運ト相俟チマシテ、所謂自作農創定運動ヲ地主諸君ニ働キ掛ケテ、其ノ協力ニ依ッテ此ノ目的ヲ達成シテ行カウト云フコトヲハツキリ申上ゲテ居ルノデアリマスカラ、其ノ意味ニ於テ、制度ト云フコトガドウ云フ御要望カ私ニモマダ其ノ點ハツキリ致シマセヌガ、所謂自作農創定自體又家産制度等ノ今後ノ研究ト相俟チマシテ、地主諸君ノ立場ト云フモノヲ十分ニ政府トシテモ考ヘテ参リタイト云フコトハ申上ゲテ差支ナイト存ジマス

○米原章三君 大體ニ所謂地主ヲ殘スト云

フ施策ニ付テノ、又地主ト云フモノニ付テノ御考ヘ方ハ、只今ノ御話デ能ク分リマシタ、私ノ所謂地主制度ヲ法制化シテ戴イテハドウカト申上ゲル大體ノ筋道ハ、仰セノ通り現在ノ地主階級ハ、一人ノ地主ニシテ數百町步數千町步ヲ持ツカノ如キ地主ヲ望ンデ居ルノデアリマスカラ、是等ハ相當數ニ減ラス、所謂制度的ニ地主ニハ或面積ヲ所有セシムル、サウシテ自ラ其ノ子弟モ共ニ耕耘ノ業ニ從フ、サウ云フ一定數ノ面積ヲ認めテ、サウシテ其ノ地主ヲ其ノ各村ニ少ク

トモ十戸トカ二十戸トカ存在セシムルコトガ、日本ノ家族制度ヲ強調スル此ノ農村ニ必要デハナイカ、斯ウ云フ意味ニ於テ家産制度ヲ御考ヘ戴クト共ニ、此ノ地主ノ制度ヲ考ヘテ戴ク御考ヘナイカ、斯ウ云フ意味デアリマス

了承致シマシタガ、唯法制化スルヤ否ヤニ付テハ、是ハ意見ノ相違ニナリマス、特ニ私ハ斯ウ云フ考ヘ方ヲシテ居リマスカラ御考ヘ置キテ願ヒタイト思ヒマス、次ニ農地價格統制令ニ依レバ、農地價格ハ是ニ依ッテ或意味ニ於テノ公定價格ニナツテ居ルト思ヒマス、就キマシテ統制令ノ運用上ニハ、府縣知事或ハ農林大臣ノ許可ヲ得マスレバ、適當ニ動カシ得ルコトモ承知致シテ居リマス、而シテ現行ノ實情ハ、賃貸價格ニ掛ケ合ハス倍率ガ稅務署毎ニ違ッテ居リマス、從ヒマシテ同一府縣内ニ於キマシテモ、接壤セル地域ニ於キマシテ郡ガ異ッテ居ルガ爲ニ、非常ニ等差ガ出來テ居ッテ、均衡ヲ失シテ居ル地方ガアルノデアリマス、就キマシテ自作農創定ニ當リマシテ、先ヅ此ノ問題ヲ是正サレルコトガ必要デアルト思ヒマスガ、是ニ對シテノ御意向ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 制度化ノ意味ガ

能ク分リマシタガ、サウ云ツク事情ハ強制化シテ行クコトガ却テ私ハ畫一的ノ弊ニ流レルノデハナイカ、寧ロ矢張り各農村ノ實テニ即シテ、皇國農村ノ建設ヲ計畫致シマス際ニ、其ノ指導精神ノ下ニ編成ヲ致シテ參ルコトガ、最モ實情ニ即シ、而モ地方ノ事情ニ即應スルモノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマスカラ故ニ制度ト云フ言葉ヲ申上ゲナカッタノデアリマスカラ、御趣旨ノ點ハ能ク私モ分ッテ居リマスカラ、十分皇國農村確立促進施設ヲ實施致シマス際ニ考慮ヲ加ヘテ参リタイト思ヒマス

○米原章三君 只今ノ御意見デ非常ニ満足

致シマス、次ニ皇國農村ハ大和民族ノ基地タルト同時ニ、食糧生産ノ根源デアリマスカラ、今後ノ農村ニ課セラルベキ問題ハ、農業經營ノ科學化ニ依リ生産ヲ増強スルコトデアリマス、而シテ是ガ重大ナル責務ヲ新シキ地主層ニ負擔セシムルコトニ依リマシテ、新シキ指導者タル矜持ヲ保タシムルコトガ出來ルト思ヒマス、サウシテ農地ノ改良事業ニシテモ、或ハ耕地ノ交換分合ノ實施ニ當リマシテモ、地主側ト小作ノ間ヲ協調セシムル時ハ極メテ圓滿ニ實現シ得ルモノト思ヒマス、就キマシテ皇國農村建設ニ際シテ、其ノ指定農村毎ニ自作農創定ト新シキ地主ノ存在トヲ考ヘテ計畫シテ戴キタイ、此ノ問題ハ只今ノ大臣ノ御話デ大體

了承致シマシタガ、唯法制化スルヤ否ヤニ付テハ、是ハ意見ノ相違ニナリマス、特ニ私ハ斯ウ云フ考ヘ方ヲシテ居リマスカラ御考ヘ置キテ願ヒタイト思ヒマス、次ニ農地價格統制令ニ依レバ、農地價格ハ是ニ依ッテ或意味ニ於テノ公定價格ニナツテ居ルト思ヒマス、就キマシテ統制令ノ運用上ニハ、府縣知事或ハ農林大臣ノ許可ヲ得マスレバ、適當ニ動カシ得ルコトモ承知致シテ居リマス、而シテ現行ノ實情ハ、賃貸價格ニ掛ケ合ハス倍率ガ稅務署毎ニ違ッテ居リマス、從ヒマシテ同一府縣内ニ於キマシテモ、接壤セル地域ニ於キマシテ郡ガ異ッテ居ルガ爲ニ、非常ニ等差ガ出來テ居ッテ、均衡ヲ失シテ居ル地方ガアルノデアリマス、就キマシテ自作農創定ニ當リマシテ、先ヅ此ノ問題ヲ是正サレルコトガ必要デアルト思ヒマスガ、是ニ對シテノ御意向ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 自作農創定ニ當

リマシテ、現在ノ農地價格ノ問題ガ一番矢張り大キナ問題ニナラウト思ヒマス、今御話ノ賃貸價格ニ對スル倍率ノ問題デアリマスガ、是ハ昭和十五年ニ勸業銀行其ノ他ノ各特殊銀行ガ農村ノ實體ニ互リマシテ調査致シマシタ價格カラ割出シマシテ、其ノ倍率等モ決メテ次第デアリマスノデ、其ノ當時ニ於ケル農村ノ農地價格ヲ其ノ儘ニ反映セシメテ居ル譯デアリマス、從ッテ或ハ郡ニ依リ倍率ガ違フト云フヤウナコトモアツタト思ヒマスガ、是等ノ點モ自作農創定ヲ致シマス際ニ、非常ニソコニ不合理ガアリマスレバ、今御述ノ通りノ地方長官ノ許可、或ハ主務大臣ノ認可ニ依リマシテ、個々の農地ニ付テ、更ニ地方的ナ集團農地ニ付

キマシテ、其ノ價格ヲ是正スル途モアルノ
デアリマス、適當ニ善處致シテ參リタイト
思ヒマス

○米原章三君 能ク分リマシタ、次ニ御伺

ヒ致シタイノハ適正小作料設定ノ進行狀況
ノ府縣別ノ表ヲ拜見致シマシテ、非常ニ此
ノ進行ガ順調ニ行ケル地方ト、殆下此ノ適
正小作料設定ノ出來テ居ナイ地方ト、府縣
ニ依ッテ非常ニ等差ガアルヤウニ思ヒマス、
是ハ何カ農林省ノ指導ノ方法、所謂小作官
ノ如何ニ依ッテコンナニ開キガ付イテ居リ
マスカ、或ハ國ノ方針デアリマスカ、或地方
デハ殆下全府縣ニ於ケル八割以上ノ町村ガ
最早適正小作料設定シテ居ル町村モアリ、
又府縣ニ依リマシテハ一府縣數箇町村シカ
ナイ府縣モアル、此ノ表ヲ拜見致シマシテ、
此ノ國ノ政策ガ府縣ニ依リ斯クモ相違ノア
ル點ニ付テモ農林省ノ御考ヘ方ヲ承リタイ
ト思ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 適正小作料ノ問

題ニ付キマシテハ、農林省トシマシテモ之ヲ
強制的ニ各府縣ニ要請ハ致シテ居リマセス、
府縣ノ實情ニ即シマシテ、其ノ府縣々々ノ
農地委員會ニ十分諮リマシタ上デ、地主諸
君モ小作人諸君モ共ニ、府縣ガ大體其ノ方
針ヲ示シテ居リマスガ、ソレニ同意ノアリ
マシタ所ニ於テ其ノ實行ガ行ハレテ居ルノ
デアリマス、デアリマスカラ府縣ノ實情ニ
依リマシテハ、非常ニソレガ多ク進んで解
決シテ居ル所モアリマスルシ、又府縣ニ依
リマシテハ殆下數箇町村シカ出來テナイト
云フ所ノアリマスノモ、右ノヤウナ事情ニ
基イテノ指導方針ヲ探ッテ居リマスガ爲メト
承知シテ居リマス

○米原章三君 只今ノ等差ノアルコトモ大

體分リマシタガ、是ハ指導ニ依リマシテ、
自作農制定ト相俟ッテ特ニ進んで居ナイ方
面ハ御考ヘ願ヒタイト思ヒマス、最後ニ今
一ツ御伺ヒ致シタイコトハ、衆議院ニ於テ
農業團體法案ニ對シテ附帶決議ガサレテ居
リマス、即チ「政府ハ農業團體ノ重大使命ニ
鑑ミ速ニ農業關係團體等ニ對シ徹底の
整理ヲ斷行シ其ノ業務ヲ農業團體ニ移讓セ
シムベシ」ト決議サレテ居リマス、由來國策
會社ハ統制經濟ノ發展過程ニ於キマシテ必
然的ニ設ケラレタ機構デアルト信ジマス、
從ヒマシテ之ガ改廢ハ其ノ影響スル所ハ重
大デアルト思ヒマス、此ノ決議ニ付キマシ
テノ當局ノ御意向ヲ承ッテ置キマスルコトハ、
本案ヲ審議スル上ニ於キマシテ重要ナコト
ト信ジマスルガ故ニ御伺ヒ致シマス

○國務大臣(井野碩哉君) 衆議院ニ於キマ

スル農業團體法案ノ附帶決議ニ對シテ、其
ノ際私カラ委員諸君ニ御答フシテ居ル言葉
ガゴザイマス、ソレヲ朗讀致シマシテ今ノ
御答ニ代ヘタイト思ヒマス、即チ「農業關係
國策會社ハ統制經濟ノ發展過程ニ於テソレ
ゾレ其ノ具體的要請ニ基キ成立致シマシタ
機關デアリ、且生産、配給、消費ノ各層ニ互
ル業者ヲ以テ組織シテ居ルモノデアリマス
ノデ、克ク其ノ機能ヲ勘案シ、其ノ具體的
實情ニ即シ整理移讓スルヲ適當ト認ムルモ
ノニ付キマシテハ之ヲ斷行致ス所存デアリ
マス」、斯ウ御答ヘ、申シテ居ルノデアリマス、
デコザイマスカラ、只今御述ノ通りノ從來
ノ發展過程、又現在ノ各團體トノ間ノ機能、
使命等ヲ十分ニ勘案致シマシテ、サウシテ
善處致シテ參ル、斯ウ考ヘテ居リマス

○米原章三君 私人質問ハ是デ終リマス

○子爵土岐章君 私人質問ニ關

聯シテチヨット述ベタイト思ヒマス
○委員長(伯爵黒木三次君) ドウゾ
○子爵土岐章君 只今米原サンカラ皇國農
村ノコトニ付テ御質問ガアツクノデアリマス
ガ、私ハ昨日ノ質問ノ場合ニ少シ言葉ガ足
リナカッタト考ヘルノデアリマス、而シテ今日米
原サンカラ地主ヲ殘スコトガ必要ダト云フ
コトノ御意見ガ出マシタガ、要スルニ私ハ
地主ニ對スル所ノ教育ト云フコトガ、今日最
モ必要デハナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリ
マス、從ヒマシテ、當局ニ於テ種々ノ施設ヲセ
ラレマスルガ、是ダケデハイカス、地主ト云フ
モノガ眞ニ優良ナ地主トシテ努力ト創意ト、
ソレカラ政府ノ施設ニ對シテ十分ニ農ニ徹
スルト云フコトニナラナレバナラヌト考ヘル
ノデアリマス、デアリマスカラ私ハ、地主
ノ中ニハ、郷土ノ開發ニ對シテ御奉公シテ
居ラナイ者モアラウト存ジマスルガ、多少
トモ自覺シテ、忸怩タル念ヲ生ジテ、サウ
シテ其ノ結果トシテ、地主ガ自分ヲ教養シ、
サウシテ眞ニ日本ノ國風ニ副ウタ良地主ト
ナルト云フコトデナケレバナラナイト考ヘ
ルノデアリマス、デアリマスカラ地主ノ力
ハ制度ヤ經濟ノ問題バカリデナク、地主ノ
主トシテ其ノ教養ト徳望トニ依ッテ養ハレ
ルモノデアルト云フコトニナラナレバナ
ラナイト考ヘマス、此ノ爲ニハ民間ノ有徳
達識ノ指導者、或ハ斯カル指導者ヲ有スル
教化團體、教化機關ト云フ風ナモノノ自由
ナル活動ヲ利用スルト云フコトガ最モ得策
デアルト考ヘルノデアリマス、即チ道德的ノ
問題ハ、他カラ命令サレタリ或ハ指示サレ
ルト云フ風ナコトデナクシテ、自ら敬慕シ
心服シテ居ル人々トノ自由ナ交際ノ間ニ何
時カ感化サレ誘導セラレレル時ニ、最モ深ク

且篤ク教養セラレレルモノデアルト存ズルノ

デアリマス、デアリマスカラ私ハ地主ノ子
弟ニ對シテ之ニ十分ナル農士トシテノ教養
ヲ與ヘルト云フコトガ最モ必要デアルト云
フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、今日迄政府
ニ於テモ或ハ内原ノ訓練所デアルトカ又地
方ニ於テモ多數ノ農士學校等ガアリマスル
ガ、是等ニ對シテ地主ノ子弟ヲ入レテ教養
ヲシテ、サウシテ眞ニ我が國ノ皇國農村ニ
於ケル所ノ地主トシテノ教養ヲ與ヘルト云
フコトガ私ハ最モ必要デアナイカト、斯ウ
云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シ
テ政府ガモット積極的ニ之等ヲ御利用ニナ
ル御意志ガアルカドウカト云フコトヲ御伺
ヒ致シマス

○國務大臣(井野碩哉君) 現在ノ地主ノ

方々ハ、相當ニ國家ノ要請ヲ理解シテ居ラ
レマシテ、最近ニ於キマシテハ、政府ガ或程度
ハッキリシタ肚ヲ示セバ、之ニ協力ヲ致シ
テ參リタイト云フ氣持ヲ示シテ來ラレタノ
デアリマス、從ッテ過去ニ於ケル色々ノ地
主諸君ニ對スル非難等モ、今後ハ政府ノ進
ミ方ニ依リマシテ解消シテ參ルコトダト存
ジテ居リマスガ、今御話ノ地主ノ子弟ニ對
シマスル教育、此ノ問題ハ又別箇ニ一ツ將來
ノ所謂地主、新地主制度ト云フ言ヲ米原サ
ンハ御使ヒニナリマシタガ、サウ云ツタヤウ
ナ新ナル皇國農村ニ於テノ地主ノ教養ヲ進
メテ行クト云フコトニ於テ、鍊成ヲ致シテ
參ル必要ハ是ハアルト思ッテ居リマス、從ッ
テ只今御述ニナリマシタ内原ノ訓練ニ於キ
マシテモ亦各府縣ノ農民道場ノ訓練ニ於キ
マシテモ、是等ノ子弟ノ再教育ト云フコト
ニ付キマシテモ十分考慮ヲ加ヘテ參リタイ
ト思ッテ居リマス

○男爵三須精一君 私ハ水産事業團體法案ニ付テ質問シテ見タイト思ヒマスガ、其ノ前ニ大臣ニ御伺ヒシタイコトガアリマス、現在日本ハ此ノ戰爭ニ於テ南方方面ニ非常ニ海水面ヲ得、且漁業方面ニ於キマシテモ之ニ伴ツテ非常ニ擴大シテ行クコトダラウト思ヒマスガ、之ニ對シテ技術者其ノ他モ相當今ヨリ準備シテ置ク必要ガアルト思ヒマス、然ルニ現在此ノ水産教育ノ施設ト云フモノガ、一般農業方面ノ教育施設ニ比較致シマシテ餘リニ貧弱デハナイカト云フ感ジガスルノデアリマス、將來此ノ方面ニ對シテ當局ハ擴大サレル御意思ガアリマスルヤ否ヤ其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○國務大臣(井野碩哉君) 今日水産業ノ發展性カラ考ヘテ見マシテ、殊ニ南方地域ノ水産發展ノ將來性カラ考ヘテ見マシテ、水産教育ノ上ニ於テモット人材ヲ多ク養成スルト云フコトノ必要ハ認メテ居リマス、從ツテ今後モ其ノ方面ニ付テハ極力努力ヲ致シテ行ク積リデ居リマスガ、本年差當リ遠洋漁業ノ生徒ヲ増加致シマシテ、サウシテ差當リノ需要ノ増加ニ應ジタイト考ヘテ、豫算ノ上ニ於キマシテモ其ノ施設ヲ致シタヤウナ譯デアリマシテ、今後トモサウ云フ方面ニハ十分力ヲ注イデ參リタイト考ヘテ居リマス

○男爵三須精一君 尙水産ニ於ケル各種ノ試験研究ト云フモノハ益、多クナッテ行クト思ヒマスガ、現在ニ於ケル各種水産試驗場ノ設備ト云フモノニ付テハ矢張り餘リニ貧弱ノヤウニ思ヒマスガ、之ニ對シテ教育ト同様、將來設備ノ擴大ヲ御考ニナッテ居ラレマスカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○國務大臣(井野碩哉君) 現在ニ於キマス

ル水産ノ試験研究ノ諸機關ノ現状ハ、中央ニ於キマスル試驗場ハ相當擴大強化致シマシテ今日ハ水産業ノ發達ノ爲ニ非常ニ貢獻致シテ居リマスガ、地方ニ於キマスル試驗場等ハ主トシテ一種ノ連絡機關トシ、又其ノ地方事情ニ應ジテノ指導機關トシテノ機能ヲ發揮シテ居リマスガ、之ヲ各府縣等ニ今日ノ如ク置イテ置クコトガ宜イカ、更ニ水産ノ性質ニ鑑ミマシテ「ブロック」的ニ其ノ機關ヲ統合シテ行クコトノ方ガ寧ロ宜イノデハナイカト私モ考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ制度ハ、現在ニ於キマシテハ資材ノ關係、努力ノ關係カラナカク、思ヒ切ツタ色々ナ調査研究ハ出來マセヌガ、サウ云フコトノ出來ル時代ニナリマシタナラバ、是等ノ整備ニ付キマシテモ十分考慮致シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○男爵三須精一君 昨日デシタカ、石黒委員ヨリノ御意見ガアリマシテ、此ノ法文ニ福利施設ノ點ガ出テ居ルト云フヤウナ御話ガゴザイマシタ、當局ニ於キマシテハ、之ニ對シテ色々書イテハナイガ、アルト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、將來機會ガアリマシタラ之ヲ法文化シテ明瞭ニ此ノ點ヲ書キ加ヘルト云フ御意思ガアリマスルヤ否ヤ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 現在ノ漁業組合等デ實行シテ居リマス福利施設ハ、現在モ此ノ條文ノ下ニ致シテ居ルノデアリマスガ、將來是等ノ機關ガ完備シテ參リマシテ、福利施設ト云フモノニモット大キナ仕事ヲ考ヘナケレバナラスト云フ時ニナリマシテ、何等カノ改正ノ機會ガアリマスレバ或ハ考慮シテモ宜イト存ジテ居リマスガ、併シ實際ハ此ノ條文デ十分動キ得ル餘地ヲ殘シテ居

リマスルカラ、差當リハ是デ進ンデ參リタイト考ヘテ居リマス

○男爵三須精一君 此ノ事變以來資材ノ不足ヤラ或ハ漁場並ニ其ノ他ノ關係デテ非常ニ漁獲ノ生産量ガ年々減少シテ行クコトト思ヒマス、ソレニ引換ヘ一方最近ノ如ク食糧ガ段々ト不足トナッテ來マスト、此ノ水産物ノ増強ハ非常ニ必要デアルト思ヒマスガ、之ニ對シテ政府ハ現在如何ナル増産對策ニ付テノ御計畫ガゴザイマスカ、ソレニ付キマシテ……

○國務大臣(井野碩哉君) 支那事變以後、資材努力ノ不足並ニ漁船徵用等ノ見地カラ漁獲高ガ事變前ニ較ベマシテ殆ド半減近ク致シテ居リマスルコトハ御述ノ通りデアリマス、從テ國民ノ動物質蛋白質給源トシマシテ最モ重大デアル水産物ノ減少ト云フコトハ、國民ノ食糧問題トシテ、又營養問題トシテ誠ニ考慮シナケレバナラヌ大キナ問題デアリマスノデ、政府ト致シマシテモ銳意ノ増加ニ付キマシテハ各方面カラ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、差當リ之ガ解決策トシマシテハ、結局油、重油ト云フ問題ガ相當大キナ要素ヲ占メテ居リマス、其ノ爲ニ南方カラ今後輸入シテ參リマスル油ニ付キマシテモ、陸海軍ニ要請シマシテ、出來ルダケ水産漁獲ノ資材トシテ配給ヲ受ケルヤウニ努力致シテ參リマスルシ、又一面漁船ノ徵用等ニ付キマシテモ、出來ルダケ軍ノ作戰ノ許ス限リ之ヲ漁業用ニ廻シヤウニ努力モ致シテ參リマスルシ、又海洋漁業ノミナラズ内水面並ニ淺海ノ養殖増殖事業ト云フモノガ此ノ問題ヲ解決シマス一ツ方面ニ向ヒマシテモ相當ノ豫算ヲ計上シ、

之ガ増殖ヲ圖リツ、アル實情デアリマシテ、是等ノ具體的ナ施策ト、更ニ又機構的ナ改革ニ依リマシテ之ガ増殖ニ努メテ參リタイト存ズルノデアリマス、機構的ノ改革ト申シマスノハ、先般來御説明申上ゲテ居リマシヤウニ、海洋漁業ニ於キマシテハ、生産並ニ配給機構ノ一元化ヲ圖リ、又沿岸漁業ニ於キマシテハ今回ノ水産業團體統合ニ依リマシテ、サウシテ以上述べマシタヤウナ施策ヲ徹底的ニ行ツテ行ク爲ノ協力機關トシテ之ヲ活用シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵三須精一君 現在ノ漁業法ニ依リマスル所ノ漁業權ノ免許ト云フモノハ、全國ニ於テハ非常ナ大キナ數字ニ上ツテ居リ、此ノ度ノ漁業ノ統制ニナリマスルト、是等ノ整理ヲナサルコトト思ヒマスルガ、之ニ付キマシテ當局トシテハ如何ナル方法ヲ御持チニナリマスカ

○國務大臣(井野碩哉君) 今日ノ漁村ノ地域ニ於キマスル各種ノ漁業權ハ、制度的ニ相當ノ沿革ヲ持ツテ居リマスガ、併シ今日ノ時勢ニ即應シマシテ、如何ニシタラバ増産ニ資シ得ルカト云フコトヲ觀點ニ、再檢討ヲ加ヘテ行ク必要ガアルト思ツテ居リマス、先般來一應ノ漁業權ノ整理モ致シ、相當地先水面等ノ漁業權ニ付キマシテハ整理モ濟ンデ居リマスガ、更ニ定地漁業權、特別漁業權ニ付キマシテモ、相當今申上ゲマシタ觀點カラ今後其ノ整理ニ向ツテ矢張り力ヲ盡シテ行カケレバナラナイト斯ウ考ヘテ居リマス、唯一ツ私有權デアリマスガ故ニ、サウ外ノ事業ヲ整理致シマス程簡單ニ參ラナイ色々ノ實情ガゴザイマス、併シ今申シタヤウナ觀點カラ相當努力ハ致シテ參リタ

之ガ増殖ヲ圖リツ、アル實情デアリマシテ、是等ノ具體的ナ施策ト、更ニ又機構的ナ改革ニ依リマシテ之ガ増殖ニ努メテ參リタイト存ズルノデアリマス、機構的ノ改革ト申シマスノハ、先般來御説明申上ゲテ居リマシヤウニ、海洋漁業ニ於キマシテハ、生産並ニ配給機構ノ一元化ヲ圖リ、又沿岸漁業ニ於キマシテハ今回ノ水産業團體統合ニ依リマシテ、サウシテ以上述べマシタヤウナ施策ヲ徹底的ニ行ツテ行ク爲ノ協力機關トシテ之ヲ活用シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

イト考ヘマス

○男爵三須精一君 此ノ法文ノ中ニ於キマスル特別漁業會ト申シマスルモノハ、ドウ云フモノデゴザイマセウカ

○政府委員(寺田省一君) 特別漁業會ト申シマスノハ、特定ノ漁業ヲ營ンデ居ル漁業者ガ集テ組織スルト云フ建前ヲ執テ居リマス、特別ノ漁業ト云フノハドウ云フヤウナモノヲ豫想スルカト云フコトニ付キマシテハ、池中養殖業、池ノ中デ鯉ヤ鰯ヲ飼フ池中養殖業、ソレカラ特定ノ地方ニ於ケル特定ノ定地漁業、或ハ特定ノ地方ニ於ケル鰯揚線網デアリマストカ、サウ云フヤウナ特定ノ漁業、斯ウ云フヤウナモノヲ營ンデ居ル漁業者ガ、ソレノ同一漁業ヲ營ンデ居ル者ヲ以テ組織スル、斯ウ云フモノト考ヘテ居リマス

○男爵三須精一君 次ニ御伺ヒシタイノハ、第十四條ノ一番オ終ヒノ但書「特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ」是ハドウ云フコトナノデアリマスカ

○政府委員(寺田省一君) 第十四條第一項ノ但書デゴザイマスガ、是ハ漁業會ノ地區ハ、現在ノ漁業組合ト同ジヤウニ、市町村又ハ市町村内ノ漁業者ガ居住シテ居リマスル一定ノ地區ヲ以テ組織スルコトガ原則トナッテ居リマス、併シ河川流域デアリマストカ、ソレカラ特別ノ灣形ヲナシテ居リマス海岸デアリマストカ、ソレノ市町村毎ニ漁業會ヲ作りマシタノデハ、漁業權トノ關係上却テ協力ヲ求メラレナイト云フヤウナ場合ニ、二以上ノ市町村ニ跨ルト云フコトモ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵三須精一君 是デ私ノ質問ハ終リマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 他ニ御質疑ガ

ゴザイマスレバ、此ノ際御願ヒ致シタイト思ヒマス……別ニゴザイマセスケレバ、暫時休憩致シタイト思ヒマス、午後八時ヨリ懇談會ヲ開催致シタイト存ジマスカラ、ドウゾ各控室ニ御待チ下サイマシテ、皆サシ出来ルダケ御出席ノ上隔意ナイ當局ノ御話モ伺ヒ、隔意ナキ委員ノ御意見ヲ述ベラレテ、御懇談ヲナサラムコトヲ委員長ヨリ希望致シマス、ソレデハ之ヲ以テ一時休憩ヲ致シマス

午前十一時八分休憩

午後二時十四分開會

○委員長(伯爵黒木三次君) デハ是ヨリ午前一引續キマシテ委員會ヲ開會致シマス、皆様ト御話合ヲ致シテ置キマシタ懇談會ニ入りタイト存ジマスルノデ、速記ヲ止メマシテ懇談會ニ入りマス

午後二時十五分懇談會ニ移ル

午後四時四十分懇談會ヲ終ル

○委員長(伯爵黒木三次君) ソレデハ是ヨリ懇談會ヲ閉ヂマシテ、委員會ヲ再會致シマス、明日ハ午後一時半ニ本委員會ヲ開會致シタイト思ヒマス、デハ今日ハ是デ散會致シマス

午後四時四十五分散會

出席者左ノ如シ

- 委員長 伯爵黒木 三次君
- 副委員長 男爵稻田 昌植君
- 委員 伯爵一條 實孝君
- 伯爵山縣 有道君
- 侯爵池田 宣政君

子爵松平 保男君

子爵土岐 章君

子爵本多 忠晃君

入江 貫一君

三井清一郎君

男爵三須 精一君

男爵坊城 俊賢君

男爵西 西乙君

宮田 光雄君

松本 學君

千石與太郎君

塩田 團平君

米原 章三君

柴田兵一郎君

石黒 忠篤君

農林大臣 井野 碩哉君

農林省總務局長 重政 誠之君

農林省水産局長 寺田 省一君

農林書記官 藤田 巖君